

シラバス（授業計画）及びナンバリングについて

『シラバス（授業計画）』には、授業名、担当教員、授業概要、到達目標、授業計画、必要な予習・復習（※）、成績評価の基準、質問の受付に関すること（オフィスアワー）、使用する教科書に関する事等が掲載されています。また、注意事項、必要な準備等も記載されていますので、履修計画をたてて履修登録を行う時点はもとより、単位の修得を終えるまで、基本資料として常にその内容に留意してください。

ナンバリングは、授業科目の体系性を示しています。順を追って履修しないと理解が難しく、学びの効果を上げられない科目もありますので、『学生便覧』に掲載されている、両学科の「教育課程」の表と併用し活用してください。また、学部・両学科のカリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、アセスメントポリシーとの関連もありますので参照してください。

（※）

大学設置基準によれば、「大学における授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする」と定められています。すなわち、1単位を取得するためには、45時間分の学修をすることが必要になります。

大学における授業は、一般に90分（単位計算上は2時間）を1時限として行われ、原則として半期15週の授業で2単位又は1単位を認定することとなっています。しかし、これだけでは45時間（1単位）や90時間（2単位）に満たないことがわかります。すなわち、大学へ来て授業を受けるほかに、シラバスに記載された予習・復習、先生から指示されたレポートの作成、発表の準備など、自宅や図書館での学習を十分に行って初めて単位取得の要件が整うこととなります。大学において学ぶということは、大学での授業をもとにして授業時間外においても、自ら積極的に学んで行くことなのです。（単位の計算方法は『学生便覧』「履修規程」第3条「単位制」参照）